

一般質問

市問政を!

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。
 ◎ここに掲載したのは要約で、会議録に基づき議員本人が編集したものです。
 ◎詳細は会議録（今回の会議録は、6月頃からホームページ、図書館、各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

氏名	質問の要旨
龍 誠一	1 歴史から見た大川市と災害対策について
岡 秀昭	1 大川市の『働き方改革』への取り組み状況について 2 公共施設の有効活用について
永島 守	1 近未来構想について
遠藤 博昭	1 大川市の今後の教育方針について
古賀 龍彦	1 倉重市政について
宮崎 稔子	1 子どもや子育ての相談窓口にSNSの活用を 2 大川市の指定ゴミ袋の品質改善を
馬淵 清博	1 大川市のプラスチックごみの処理状況と今後の取り組みについて 2 大川市が管理する公園の現状と課題は 3 小学校の設備の進捗状況は

商店街リノベーション支援事業について

問 商店街リノベーション支援事業助成金の補助率は。

答 経費の2分の1、上限100万円を補助するものです。

問 商店街に人が集まらないと予算が活かされないが、商店街への人の流れをどのように作っていくのか。

答 商店街や大学、観光協会と協議を行い、商店街の空き地や駐車場を使って、大学生も参画できるような事業を検討しており、商店街に大学生が来て、市民も大学に行ってもらえるような交流の場を作っていきたいと考えています。

シテイセールス事業費について

問 シテイセールス事業費が昨年度より削減されている理由は。

答 連携協定を結んでいる八芳園に依頼しているイベント業務を、全国の参加自治体と一緒に行うことで費用を削減することができたためです。

道路維持費について

問 道路維持工事費及び狭隘道路事業工事費の内容は。

答 道路維持工事費は、基本的には道路の局部改良、側溝の設置、舗装の補修等であり、市内全域を対象に地元からの要望等を踏まえ、調査をしながら進めています。狭隘道路事業は、26年に各校区からいただいた要望を踏まえて実施しており、31年度の工事予定としては、要望地区である酒見地区と新田地区の2路線、通学路の安全対策等として荻島地区と小保地区の2路線を計画しています。

社会資本整備総合交付金事業について

問 社会資本整備総合交付金事業の市道郷原一木線は、31年度はどこまでを目標に進めていくのか。

答 31年度の予算については、32年度の完成に向けて重点配分しています。30年度の事業進捗は79パーセント、31年度は94パーセントを見込んでおり、31年度に用地買収を完了したいと考えています。

消防庁舎耐震補強他改修工事について

問 消防庁舎耐震補強他改修工事の内容は。

答 工事の内訳として耐震補強工事、外壁改修工事、中性化対策工事、屋上防水工事等となっております。

問 耐震補強工事の内容は。

答 消防庁舎1階北側の半分の窓を埋める工事を行うことで耐震補強を行います。

統合中学校木製机・椅子他備品購入費について

問 統合中学校木製机・椅子等の購入予定数や購入方法は。

答 机・椅子は900セットを購入する予定であり、平成29年の九州北部豪雨で被災された地域を支援するため、昨年2月に、本市と朝倉市及び東峰村は「木材調達等に関する連携協定」を締結しましたので、これに基づき、被災された地域からの材料を使った机・椅子を購入する予定です。

個人市民税及び法人市民税について

問 個人市民税及び法人市民税に關し、前年度より増収を見込んでいますが、上昇率とその根拠は。

答 個人市民税は、最近の課税の実績や30年度の決算の見込み等を踏まえ、均等割については横ばい、所得割は微増で、個人市民税全体としても、3・2パーセント程度の増収を見込んでいます。法人市民税は、30年度の課税状況を基礎としつつ、企業の閉鎖等の状況等を勘案すると、均等割は2・4パーセント程度減少すると見込み、法人税割は、最近の課税の実績や30年度の決算の見込み等を踏まえ、6・7パーセントの増収を見込み、法人市民税全体としても、3・2パーセント程度の増収を見込んでいます。



大川市のプラスチックごみの処理状況と今後の取り組みについて
大川市が管理する公園の現状と課題は
馬淵 清博 議員

問 大川市のプラスチックごみのリサイクルの現状は。また、今後の取り組みはどのように考えているのか。

答 本市では、平成26年より、容器包装プラスチックを資源ごみとして地域のリサイクルステーションで回収しています。回収されたごみは、清掃センターに搬入された他のプラスチックごみと合わせて分別を行い、再生原料や燃料化等にリサイクルされて、有効利用しています。また、焼却ごみの中には、多くの容器包装プラスチックごみやそれ以外のプラスチックごみが混入しているので、今後、リサイクルに向け、回収方法等を調査研究していきたいと考えています。

問 紙おむつのリサイクルに取り組む市町村が増えているが、大川市では、どのように考えているか。

答 今後、高齢化の進展に伴い、使用済み紙おむつも増えてくると思われれます。紙おむつのリサイクルを始めるとなると、回収ボックス等の設置や収集方法の仕組み作り等が必要になります。また、紙おむつのリサイクルに係る処理費用は、現在の処理費用より約2倍近く必要になると思われ、現時点では難しいと考えています。

問 市内公園のトイレの改修状況は、どうなっているのか。

答 28年度に三柱公園のトイレを汲み取りタイプからバイオトイレに改修しました。筑後川総合運動公園のトイレは、29・30年度に国の交付金事業を活用し、5セット10棟のうち、3セット6棟について簡易水洗洋式化を行いました。31年度は城山公園の汲み取りタイプトイレを国の補助事業を活用し、下水道に接続予定です。